

External Defibrillators, Defibrillation, Cardioversion, and Pacing. Circulation; 112: IV-35-IV-46; (2005)

2) 畑中哲生, et al.: 公共施設に於ける AED の効果的な設置・表示のあり方に関わる研究; 平成 19 年度厚生労働科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業自動体外式除細動器 (AED) を用いた心疾患の救命率向上のための体勢の構築に関する研究 平成 19 年度 総括・分担研究報告書

F. 健康危険情報

無し

G. 研究発表

無し

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

無し

2. 実用新案登録

無し

3. その他

無し

・倒れている人に AED を使用した事がありますか？ あり・なし
(年 月頃 どこで→)

・心肺蘇生講習会の受講歴 あり・なし
(年 月頃 どこで→)

・今、倒れた人と AED があるとした場合、使い方を知っていますか？
はい・いいえ

「はい」と答えられた方、どこで使い方を知りましたか？

(数字に一つだけ、○をつけて下さい)

- 1, 何となく使える気がする
- 2, 講習会を受けた
- 3, テレビで見た
- 4, その他 ()

・ AED の使用についてあてはまると思う番号 (1-3) に○をつけて下さい。(複数可) その他にご存じのことがあれば4番に記入してください。

- 1, AED を触る事には免許がいる。
- 2, 使い方を教わらないと触ってはいけない。
- 3, 誰でも使って良い

その他 ()

資料2

事後アンケート

受付番号： _____ (番号が分からない場合は係に聞いて下さい。)

① AEDを探した感想

探しやすさに○をつけて下さい (一つ選択)

1 困難 2 やや困難 3 普通 4 やや簡単 5 簡単

上記と答えた理由を教えてください。

[]

② AEDを見つけるまでに一番有用であった情報は何か？

- 1, AEDマップ携帯版
- 2, 周囲の人の情報
- 3, 建物の入り口のAED設置に関する表示
- 4, 施設設置の地図などAED設置場所の表示
- 5, 無かった
- 6, その他 ()

さらに探しやすさを簡単にするにはどのようにすればどのような工夫が必

[]

要と思われましたか？

③ 「AEDを探してください」といわれた場合、最初に何をしましたか？ (1つ)

- 1, AEDマップ携帯版を操作

- 2, 周囲の人に聞いた
- 3, とりあえず建物を探した。
- 4, その他 ()

④AED は建物の中ではどの位置にあると一番良いと思われましたか？

- 1, 入り口
- 2, 談話スペース
- 3, エレベータ・階段ホール
- 4, その他 ()

③ AED マップを使用した感想

- 使い方はあてはまるものに○をつけて下さい (一つ選択)
1 困難 2 やや困難 3 普通 4 やや簡単 5 簡単

上記と答えた理由を教えてください。

()

- AED マップ携帯版は AED を探し出すのに有用だと思いますか？
あてはまるものに○をつけて下さい (一つ選択)
1 不必要 2 あまり必要性を感じない 3 普通 4 やや有用 5 大変有用

上記と答えた理由を教えてください。

()

- さらに AED マップ携帯版を有用なものにするにはどのようにすればど

()

のような工夫が必要と思われましたか？

- AED マップ携帯版を普及させる事にどう思われますか？

あてはまるものに○をつけて下さい（一つ選択）

- 1 普及には大反対 2 普及させない方がいい 3 どうでもいい
4 いくつかの工夫をしてから普及すべき 5 早く普及すべき

上記と答えた理由を教えてください。

()

ありがとうございました。

図1 研究場所



図2 本部のAEDの配置



番号	スタート地点からの最短距離
1	160m
2	120m
3	180m
4	190m
5	300m
6	320m
7	330m

☺スタート地点 ↘ AED 携帯版登録されたAED 1,5,7

図3 北部のAEDの配置



図4 当日の流れ

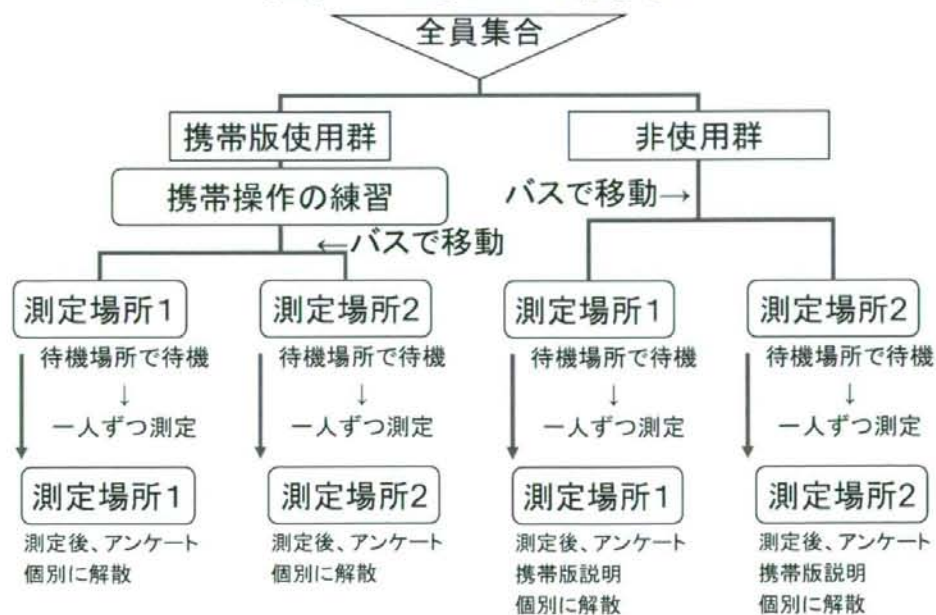


図5 携帯版の画面

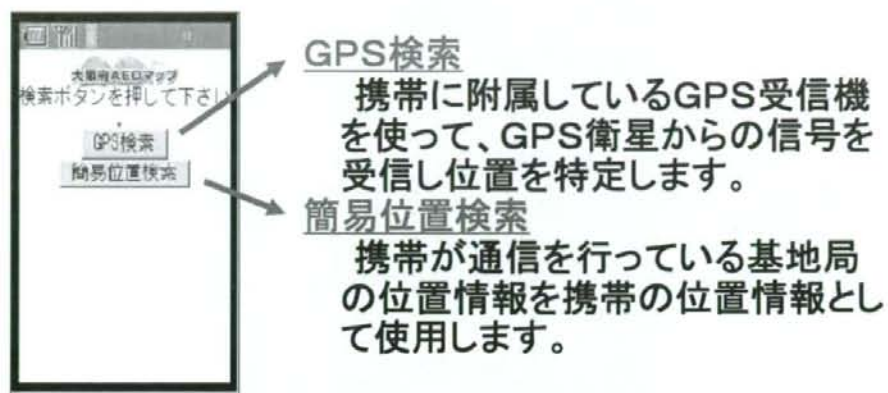


図6 AEDマップ携帯版の画面

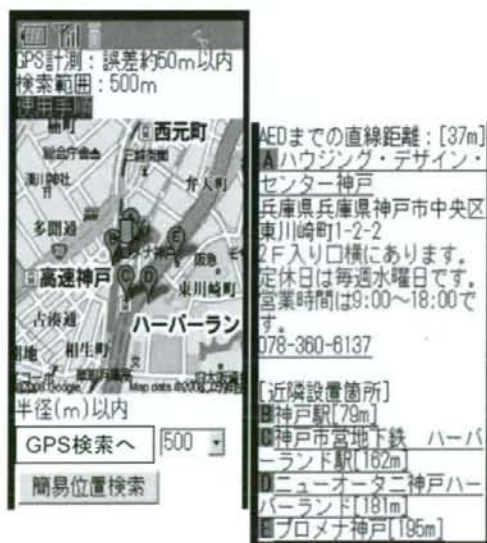


表1 対象者(43名)の背景

性別	男性 27名	女性16名
年齢	20~60	平均27.6(中央値23)
職種	学生	26名
	看護師、救急救命士	6名
	教育関係	2名
	主婦	1名
	消防、警察など	1名
	その他(自営業など)	7名

表2 対象者背景 割り振り別

	携帯版使用群 N=22	非使用群 N=21	p
性別 男 n,(%)	14(63.6)	13(61.9)	N.S.
年齢 平均値	27.7±10.4	27.5±10.9	N.S.
対象地区 本部 n,(%)	11(50.0)	10(47.6)	N.S.

表3 結果 測定時間

	携帯版使用群 N=22	非使用群 N=21	P
TOTAL(秒)	399.6±238.2	407.0±255.5	N.S.
スタートから AED接触(秒)	333.6±213.4	286.5±162.8	N.S.
AED接触から 戻るまで(秒)	65.9±42.2	120.5±125.1	N.S.

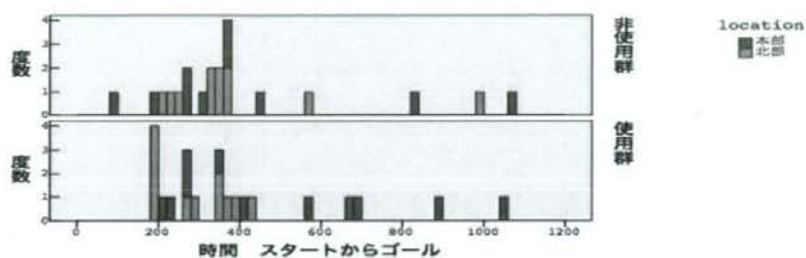


図11 接触したAEDの距離

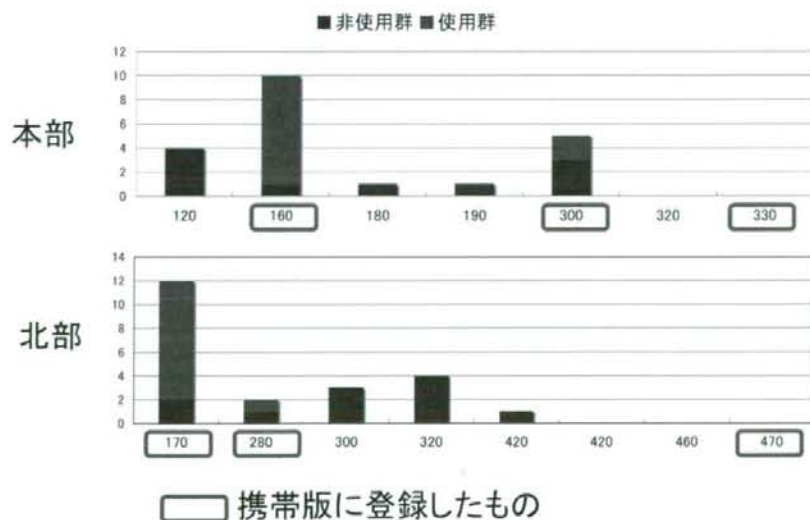


表4 結果 測定距離

	携帯版使用群 N=22	非使用群 N=21	p
TOTAL(m)	605.8±315.1	891.1±444.8	0.019
スタートから AED接触(m)	414.5±291.1	574.4±290.5	0.079
AED接触から 戻るまで(m)	191.4±64.9	316.7±224.2	0.016

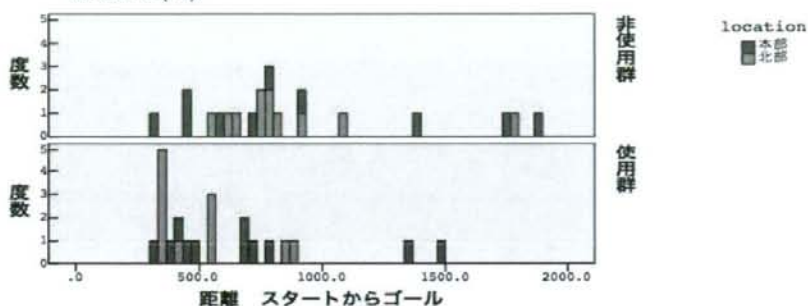


表5 対象者背景AEDに関して

研究2週間前の事前アンケート結果

- 近親者の突然の心停止あり 5名(11.6%)
- AEDの実物を見たことあり 41名(95.3%)
- AED(練習機を含む)を触ったことある
35名(81.4%)
- 実際にAEDを使用したことがある 2名(4.7%)
- 心肺蘇生の講習会(AED使用法が無い
ものも含む)の受講歴がある 33名(76.7%)
- AEDの使用法を知っている 34名(85%)

図12 事後アンケート結果

AEDを探した感想

携帯版使用群

非使用群

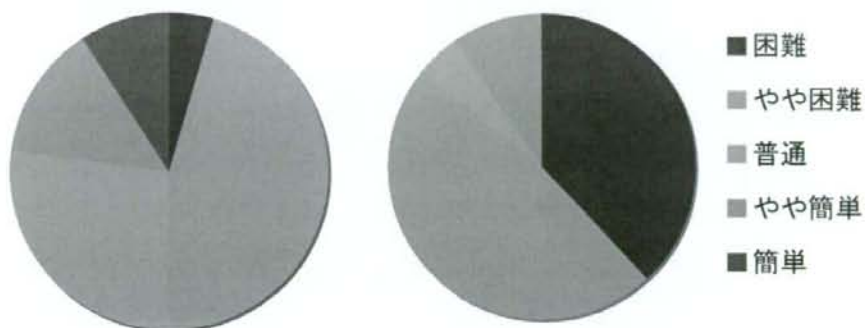
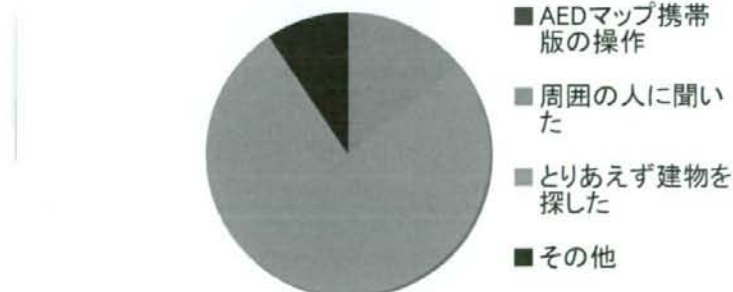


図13 事後アンケート結果

AEDを探す際に最初にしたこと

携帯版使用群

非使用群



その他は、「人通りの多いところ」「外」を探した

図14 事後アンケート結果

AEDを探すのに有用であった情報

携帯版使用群

非使用群

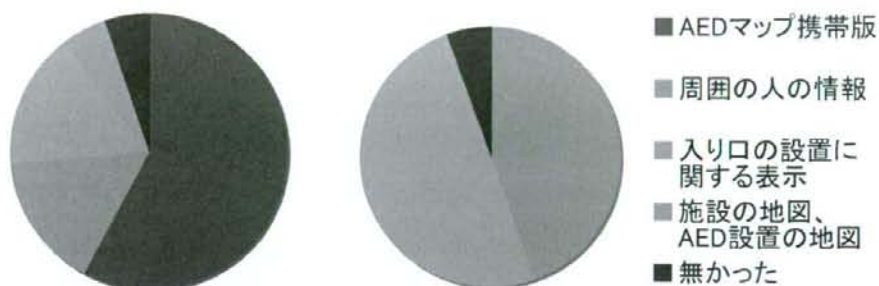


図15 事後アンケート結果 (携帯版使用群のみ)

AEDマップ携帯版を使用した感想

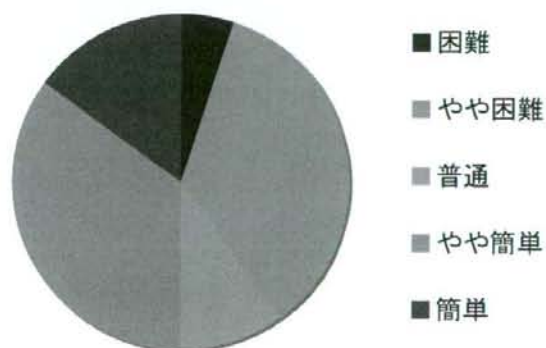


図16 事後アンケート結果 (携帯版使用群のみ)

AEDマップ携帯版は有用か？

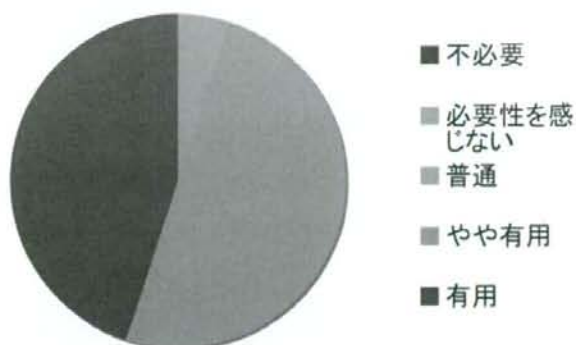
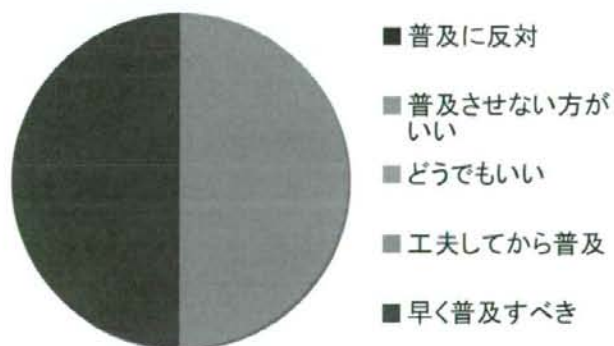


図17 事後アンケート結果 (携帯版使用群のみ)

AEDマップ携帯版を普及させることについて
どう思うか



厚生労働科学研究費補助金「循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業」

自動体外式除細動器（AED）を用いた心疾患の救命率向上のための

体制の構築に関する研究（課題番号 H18-心筋-001）

研究代表者：兵庫医科大学教授 丸川征四郎

平成 20 年度研究報告

研究課題 C

AED 設置状況の調査システムの構築

研究協力者（代表） 近藤 久禎

日本医科大学高度救命救急センター 助教

平成 21（2009）年 3 月

目 次

1. 研究者名簿（前掲）	
2. 分担研究報告書	
研究要旨	3
A. 研究目的	3
B. 研究方法	3
C. 研究結果	3
D. 考察	3
E. 結論	4
F. 健康危険情報	4
G. 研究発表	5
H. 知的財産権の出願、登録情報	5
資料	
資料1 本文中の図表（スライド形式）	
資料2 別表1：都道府県PAD設置数	
別表2：都道府県人口10万対設置数	

AED 設置状況の調査システムの構築

近藤 久禎¹⁾、横田 裕行²⁾、丸川征四郎³⁾、山本 保博⁴⁾

¹⁾日本医科大学高度救命救急センター、²⁾日本医科大学高度救命救急センター、

³⁾兵庫医科大学 救急・災害医学教授、⁴⁾日本医科大学高度救命救急センター

研究要旨：我が国の AED 設置状況を明らかにする目的で、電子情報技術産業協会 (JEITA) AED ワーキンググループに、所属各社の AED 出荷台数に関わる 4 半期単位のデータの提供を、研究初年度、次年度と同様に依頼した。この JEITA を介して集積したデータから平成 16 年 7 月以降に販売された AED 台数と、その月別、都道府県別の設置状況が把握できた。

我が国の AED においては、全国で約 20 万台、うち市中設置 (PAD) が約 15 万台であり、PAD は、平成 18 年以降、急速に普及してきて、現在もまだ、すべての都道府県で増え続けている。

AED の普及は愛知万博が一つの誘因と考えられた。また、都道府県の人口規模には関係なく、PAD の設置に都道府県の行政施策が影響している可能性が示唆された。

PAD 設置の効果は、都道府県の人口規模では、心肺停止患者の社会復帰率に影響を与えていないが、AED 実施率には寄与していることが示唆された。

今後は AED の耐用年数の問題もあり、現在の販売数を把握する手法で設置数を把握できなくなる可能性があり、新たな把握手段を検討することが課題である。

A. 研究目的

平成 16 年 7 月に市民による自動体外式除細動器 (AED) の使用が認可された。以降、

AED の病院外設置は急速に広まった。しかし、設置状況をモニターするシステムが構築されないまま販売が認可されたため、設置台数も設置場所も不明であった。これは、AED が救命に効果的な場所に設置されたか、使い易い状況で設置されているか、など医学的、疫学的な評価を行う資料がないことを意味する。厚生労働省においては、(財)日本救急医療財団に AED の普及・啓発委員会を設置し、その普及啓発を図ると同時に設置状況を設置者が公表するシステムを構築したが、公開が任意であるため十分には機能していない。

そこで、本研究では、AED 販売企業の出荷台数を定期的に調査することで、我が国の AED 普及状況を概観するシステムを初年度に構築した。このシステムで収集された販売実績から AED の普及状況を分析した。

今年度は、同様の調査を行い、AED 普及の実態を把握するとともに、普及の効果や、各都道府県における政策、誘因との因果関係について分析する。

B. 研究方法

我が国の AED 販売業者にデータ提供を文書で依頼した。調査項目は、昨年と同じく①販売台数、②平成 16 年 7 月以降の時系列 (月別) の販売台数、③市中 (PAD)、医療機関および消防機関別の販売台数、とした。平成 19 年 12 月末までの実績を収集した。

また、総務省消防庁の心肺機能停止傷病者の救命率等の状況の調査結果や、厚生労働省の AED 普及啓発事業の実施状況を活用し、この AED 販売数との関係について分析した。

C. 研究成果

平成 20 年における AED の設置数は表 1 のとおりである。

AED 普及の経過を図 1 に示す。平成 18 年以降、PAD が急速に普及している。

次に PAD の設置のトレンドについて図 2 に示す。一方、新規の PAD の設置数について図 3 に示す。設置数のトレンドの変化、新規設置数の増加は愛知万博以降に起こっている。

次に各都道府県における AED の普及状況について分析する。まず、都道府県の設置数 (別表 1)、人口 10 万対の都道府県設置数 (別表 2)